

2025年 12月 22日(月)

# 四季折々の韓国の伝統工芸がいっぱい、 「季節の断想—冬」展

- ・ 季節の流れと共に多種多様な韓国伝統工芸展開催
- ・ 大団円の冬展は韓国のキルティング技術「ヌビ」、来月 10 日まで大阪韓国文化院にて

大阪韓国文化院(院長 キム・ヘス、大阪市北区東天満 1-1-15)は、韓国の季節の流れと伝統工芸を結び付け、多種多様な工芸品を展示する特別企画展「季節の断想—冬」を先月 8 日から開催しています。

韓日国交正常化 60 周年及び 2025 大阪・関西万博を記念して開催された今回の展示は、季節の移り変わりと共に春、夏、秋、そして冬の 4 つのテーマで 1 年間続けられてきました。

### 春—白磁壺(タルハンアリ)と宮中彩花※

※宮中彩花(クンジュンチェファ): 絹やモシ(麻を原料とする韓国伝統布)で作られ、嘉礼(カリェ・婚姻の儀)や宴享など宮中で行われる行事で、上位身分への尊敬や平和・長寿・健康などを祈願するために飾られたもの

### 夏—金箔、漆

### 秋—オンギ※

※オンギ(甕器): カンジャン(韓国醤油)、コチュジャン、キムチなどを保管する韓国伝統の陶器

で構成され、韓国文化院を訪れる市民や関係者の方々に好評を得ました。

そして千秋楽の「冬」展は、韓国の寒波に耐えるため、布の間に綿をいれて縫い合わせ、防寒用の服の製作で使われた裁縫技術である「ヌビ」がテー

マになります。ヌビは一針一針に職人の魂と人生の美学が溶け込まれている韓国独特の織物芸術です。今回の展示では、伝統ヌビ職人の指先から誕生した作品をもとに、その中の技術と精神を現代の視線で新たに探究します。

綺麗な裁縫技術が際立つ穏やかな雰囲気の伝統的な袴子(ペジャ、ベスト)と韓服のチョゴリの形をした粋な改良袴子を併置し、伝統と現代を跨ぐヌビの美が感じられるよう構成、そしてヌビのスカーフ、函、カバン、スリッパや眼帯などの日常品も展示することでヌビの持続可能性と同時代の価値がわかるよう構成されました。

今回の展示では、韓国の国家無形遺産ヌビ匠のキム・ウンジュ、ハ・ウンジョン、ペ・カンレ、ユ・ジユ履修者と韓国の統営市で活動するチョン・スッキ作家が参加しています。

そして12月19日と20日には、ヌビを身近に体験できる「ヌビのスリッパ作り体験」が開催されました。チョン・スッキ作家が講師を務め、参加者はわかりやすい説明に従い、一針一針ヌビ作業をしながらヌビの暖かさを体験しました。参加者の一人は「今回作ったヌビのスリッパで床が冷たくとても寒い冬を暖かく過ごせる。」と感想を述べました。特に今回の体験は20倍の競争率に達するほどの大人気を博しました。

大阪韓国文化院のキム・ヘス院長は「韓国と日本は四季という共通の季節感覚を共有していることから今回の展示会は多くの皆様に大変ご好評をいただきました。また、韓国の伝統工芸を温故知新の姿勢で継承している国家無形遺産の先生方の優れた芸術品を日本の皆様に紹介することができ、とても意義深いことと思っております。」と述べました。

今回の冬展は同院1階の常設展示室にて、1月10日まで開催されます。

- 添付 1 展示概要
- 2 年間の展示詳細

|  |                    |               |                    |
|--|--------------------|---------------|--------------------|
| <b>駐大阪大韓民國総領事館 韓国文化院</b>   |                    |               |                    |
| 〒530-0044 大阪市北区東天満 1-1-15 HP : <a href="https://k-culture.jp">https://k-culture.jp</a> |                    |               |                    |
| <b>担当</b>  | 大阪韓国文化院<br>ノ・スンヒョン | <b>TEL</b>    | 06-6585-0585       |
|  |                    | <b>FAX</b>    | 06-6585-0985       |
|  |                    | <b>E-mail</b> | shnoh@k-culture.jp |

# 添付

## 展示概要

### ○展示監督

金住逸 キム・ジュイル Kim Juil

2024 「伝統韓服 一生儀礼」青瓦台春秋館、展示監督、文化体育館後部・KCDF

2024 「時を繋ぐ手つき」徳寿宮、展示監督、国家遺産庁・国家遺産振興院

2024 「韓-アフリカ首脳会議歓迎晩餐レセプション」新羅ホテル迎賓館、展示監督、外交部

### ○企画意図

この度のプログラムは韓国文化院1階の常設展示室を活用し、多岐にわたる韓国伝統工芸の様子を季節の移り変わりと共に魅せる展示で3月28日(金)から2026年の1月まで韓国の国家無形遺産保有者(人間国宝)などの作品を4回模様替えします。特にこの度のプログラムでは、2024年青瓦台(チョンワデ)\*で開催された「伝統韓服一生儀礼」や徳寿宮での「時を繋ぐ手つき」など多くの工芸展で監督として携わってきたキム・ジュイル氏が展示監督を務め、韓国固有の美を大阪で披露します。

\* 青瓦台(チョンワデ): ソウル市鍾路区に位置し、2022年まで70年あまりにわたって大統領官邸・執務室として使用されました

展示では、韓国の伝統工芸に込められた視覚的なイメージを活用し、春夏秋冬の各季節が表現されます。季節ごとに衣替えをし、家屋の整備を行っていた昔の祖先たちのように、各テーマに合わせてその季節を表現する伝統工芸作家の作品が展示されます。また、初心者を対象に作家直々の指導を受けることができる伝統工芸の体験プログラムも行われ、見る展示から進歩し、韓国伝統工芸の深淵を体感できるプログラムも実施されます。

## 添付

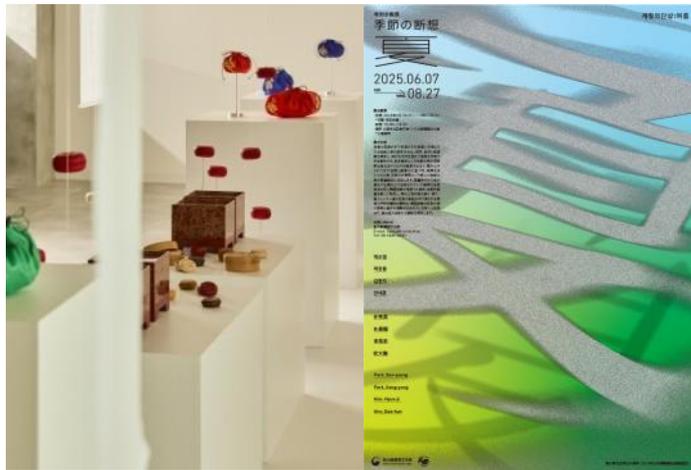
### 年間の展示詳細

| 日程               | テーマ                 | 内容                      |
|------------------|---------------------|-------------------------|
| 3. 28.<br>~6. 4. | 春<br>(宮中彩花,<br>白磁壺) | キム・ジュヨン, キム・パンギの作品展及び体験 |



(左上) ギャラリーの様子, (右上) ポスター  
(下) 宮中彩花のブローチ作り体験

|                  |             |                  |
|------------------|-------------|------------------|
| 6. 7.<br>~8. 27. | 夏<br>(金箔、漆) | キム・キホ、パク・スヨンの作品展 |
|------------------|-------------|------------------|



(左) ギャラリーの様子 (右) ポスター

|                   |            |   |
|-------------------|------------|---|
| 8. 30.<br>~11. 5. | 秋<br>(オンギ) | キム・イルマン、キム・チャンホ、キム・キョンチャンなどの<br>作品展及び体験 |
|-------------------|------------|---|



(左上) ギャラリーの様子 (右上) ポスター  
(下) オンギとよく合う韓国の伝統デザート作り体験

|                       |           |  |
|-----------------------|-----------|--|
| 11. 8.<br>~26. 1. 10. | 冬<br>(ヌビ) | キム・ウンジュ、ハ・ウンジョン、ペ・カンレ、ユ・ジュとチ<br>ョン・スッキの作品展及び体験 |
|-----------------------|-----------|--|

(左上) ギャラリーの様子 (右上) ポスター  
(下) ヌビのスリッパ作り体験